

平成29年第4回東京都北区教育委員会定例会

会議月日	平成29年4月5日(水)午後1時30分		
開催場所	北区教育委員会室		
出席委員	教 育 長 清 正 浩 靖	委 員 森 岡 謙 二	
	委 員 森 下 淑 子	委 員 加 藤 和 宣	
	委 員 檜 垣 昌 子	委 員 渡 辺 敦 子	
欠席委員			
事務局職員	教育振興部長	教育政策課長 (東京オリンピック・パラリンピック教育調整担当副参事) (教育未来館長)	
		学校改築施設管理課長	
	学校支援課長	生涯学習・学校地域連携課長	
	教育指導課長	教育支援担当課長	
	飛鳥山博物館長	中央図書館長	
	学校適正配置担当部長	学校適正配置担当課長	
	子ども未来部長	子ども未来課長	
	放課後子ども総合プラン推進担当副参事	子どもの未来応援担当副参事	
	子育て施策担当課長	保育課長	
	男女いきいき推進課長	子ども家庭支援センター所長	

会議に付した議案並びに審査結果

日程	議案番号	提 案 内 容	結 果
1	39号	東京都北区立幼稚園条例施行規則の一部を改正する規則	承認
2	40号	東京都北区立学校の位置変更について	承認

日程	報告事項	報 告 内 容	結 果
3	17号	平成28年度親子きずなづくり事業の実施結果について	了承
4	18号	後援・共催事業に関する報告	了承

平成29年第4回東京都北区教育委員会定例会会議録

平成29年4月5日(水) 13:30

清正教育長 それでは、出席委員が定足数に達していますので、会議は成立しています。これより、平成29年第4回北区教育委員会定例会を開会いたします。
日程第1、第39号議案「東京都北区立幼稚園条例施行規則の一部を改正する規則」を議題に供します。事務局から説明をお願いいたします。

学校支援課長 教育長

清正教育長 学校支援課長

学校支援課長 それでは、第39号議案「東京都北区立幼稚園条例施行規則の一部を改正する規則」について、ご説明申し上げます。おめくりいただきまして、説明欄をご覧ください。
東京都北区特定教育保育施設及び特定地域型保育事情に係わる施設等の入園申込書については同じところに定めることにより事務執行の効率的な運営のため、この規則案を提出するものでございます。

この東京都北区特定教育保育施設というのは、区長が定める認定こども園、それから保育所、幼稚園のことでございます。現在、それぞれ申込書が幼稚園の部分に関してはこの規則の中で定めておりますので、他の子ども園の申し込みをする場合には別の要旨でまた申し込まなければならない状況になってございます。それを同じ共通で、兼用で使えるように別に定める改正を行うものでございます。

1枚おめくりいただきまして、新旧対照表でございます。

下段、現行で入園の申込みは、入園申込書(別記様式)を入園しようとする幼稚園の園長を経由して東京都北区教育委員会に提出しなければならない部分を、上の改正で変更しています。別に定める入園申込書に改正しまして、これについて別に定める要綱の中で共通で使えるような形で運用をしていくものでございます。

前のほうに戻りまして、付則でございます。この規則については、交付の日から施行とするものでございます。

以上、ご説明申し上げました。ご審議のほどよろしくをお願いいたします。

清正教育長 説明ありがとうございました。
本件につきまして、ご質疑またはご意見はございますでしょうか。

(質疑・意見なし)

清正教育長 ありがとうございます。それでは、特に反対意見はないようですので、本件につきましては原案のとおり承認することでご異議ございませんでしょうか。

(異議なし)

清正教育長

ご異議ないと認め、本件は原案どおり承認することに決定させていただきます。次に日程第2、第40号議案「東京都北区立学校の位置変更について」を議題に供します。事務局から説明をお願いいたします。

学校支援課長

教育長

清正教育長

学校支援課長

学校支援課長

次に第40号議案「東京都北区立学校の位置変更について」ご説明申し上げます。1枚おめくりいただきまして、説明欄をご覧ください。浮間中学校の位置変更を行うため、本案を提出するものでございます。記の1、平成29年9月1日に東京都北区立浮間中学校の位置を東京都北区浮間四丁目29番32号から東京都北区浮間四丁目29番30号に変更するものでございます。これは浮間中学校の改築に伴いまして、現校舎の解体及び校舎の建設を行う期間の間、隣接する西浮間小学校のほうに校舎竣工までの間、移転するものでございます。以上、ご説明申し上げました。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

清正教育長

ご説明ありがとうございました。
本件につきまして、ご質疑またはご意見はございますでしょうか。

(質疑・意見なし)

清正教育長

ありがとうございます。
特に反対意見はないようですので、本件については原案のとおり承認することにご異議ございませんでしょうか。

(異議なし)

清正教育長

ご異議ないと認め、本件は原案どおり承認することに決定いたします。次に報告事項に移らせていただきます。
日程第3、報告第17号「平成28年度親子きずなづくり事業の実施結果について」事務局から説明をお願いいたします。

生涯学習・
学校地域連
携課長

教育長

清正教育長

生涯学習・学校地域連携課長

生涯学習・
学校地域連
携課長

それでは、報告第17号「平成28年度親子きずなづくり事業の実施結果について」ご報告申し上げます。

お手元の資料を1枚おめくりいただきまして、横書きの資料でございます。

概要でございます。「教育ビジョン2015」に計画事業化をしました「家庭教育力向上プログラム」の一環として、各家庭単位で子どもたちがよりよい生活習慣を培えるよう親子で実践する「親子きずなづくり事業」、こちらの事業結果をご報告させていただきます。

結果でございます。2点ございます。

一つ目が親子きずなづくり講演会ということで、こちらは2回実施をさせていただきました。第1回が28年7月13日に親野智可等氏をお招きしての講演会。第2回が岩崎由純氏をお招きしての「ペップトーク」です。こちらは前回27年度も好評だったということで、改めてお招きしたというところでの講演会でございます。参加者等はお示しのとおりでございます。

もう一点、親子きずなづくり事業「ステップ・バイ・ステップ」ということで、こちらは単位PTA向けモデル事業ということで、日常生活の中で、家庭で取り組める簡単な目標を設定して親子で実践し、生活習慣の改善を目指すことを目的として、今年度は8校を実施しました。

下の表でございます。①から④が27年度から、⑤から⑧が28年度に新たに実施するというものでございます。

合わせて配付しておりますホチキスとじの資料、詳細は後ほどご高覧をお願いしますが、6ページをご覧ください。

6ページ、この下のところの円グラフでございます。親子のふれあいというところがございます。平成27、親子の触れ合いと下にありまして、隣が平成28というところがございます。

27年は大変増えたが18%、まあまあ増えたが47%、合わせまして65%で、28年度が大変増えたが10%、まあまあ増えたが50%でございます。この数値だけで単純な比較というのは難しいところではありますが、課としましては、増えるきっかけにはなっているのは間違いないと考えております。あとあまり変わらないのが多いというのは、以前からふれあう機会が多いというご家庭もありますので、そういったところが変わらないというところでございます。

資料1でございます。細かい取り組みの内容とか、目標といったところは大変細かくなりますので、後ほどご高覧いただくというふうに住じます。

引き続きまして、先ほどの報告のペーパーのほうに参りまして、今後の予定ということでございます。27年度、28年度の実施結果を踏まえまして、引き続き同じように事業のほうを進めてまいりたいというふうに住じます。

ここで一点、大変申しわけございませんが訂正がございます。今後の予定というところの一行目、27年度、28年度の実施結果を踏まえ、平成29年度でございます、29年度も引き続きということでございます。おわびして訂正申し上げます。今後の予定

も含めての報告は以上でございます。

清正教育長 報告ありがとうございました。本件につきまして、ご質疑またはご意見はございますでしょうか。

森下委員 教育長

清正教育長 森下委員

森下委員 感想を申し上げたいと思います。まとめを読ませていただきました。こちらが狙うところの教育ビジョンに沿った狙いが、そのとおり成果として表れていたことをすごく感じました。

実施された8校でこのような結果が出ているわけですが、これをやっている期間、親子がともに子どもの目標を知り、それに対して親が様子を評価していて、大変きずなが深まっていることが顕著ですので、できれば29年度、この8校よりもまた広げて、このような機会を子どもたち、親子に与えていただければいいなと感じております。

それから、講演会で私も後半の岩崎先生に挨拶ということで参加して、聞かせていただき、大変良い講演でした。このアンケートを見ますと、大勢の方、200何名の方がアンケートを寄せておられるのですが、アンケートの記入の仕方というのは、色々な方法があると思うのですが、これを拝見していますと同じ文章、共感した、とても共感した何カ所にも出てくるのですね。まとめ方として全部それを書くのではなくて、例えば同じ文章が出ている場合は、拾う方は大変かもしれませんが、例えば共感したのが約52名なら52名という風にしていただければと思います。7ページも8ページにもわたってアンケートが載せられているので、そこは工夫があったら良いのかなという感想を持ちました。

それから、「生活リズムおじゃま妖怪～退治日記～」も取り組みの一つですよね。この間も文部科学省で表彰されたのをくおんの臨時号で拝見しましたがけれども、大変よい取り組みをしていると思います。心からこれからもよろしくお願ひしたいと思ひます。

清正教育長 ありがとうございました。何かコメントはありますか、特にいいですか。ほか、いかがでしょうか。

渡辺委員 教育長

清正教育長 渡辺委員

渡辺委員 私もこのまとめを楽しく、興味深く読ませていただきました。めあての例というのが一番最後のほうにかなりの例数があって、1、2年生は読むのが大変かなと思ったのですけれども、保護者の方も良い参考になるのかなと思いました。ルビもふってあって、

こういうのは子どもだけではなく、保護者にとっても良いまとめになっておりますので、今後の方向としてまた29年度は増やして欲しいことを森下先生もお話をされておりましたが、全校でやっていただきたいくらいの感想を持ちました。

あと、もう一点なのですが、アンケートの保護者の欄に記述なしというのがあります。50人から55人くらいに1名、必ず記述無という保護者の欄の空欄があります。こういうところから、もしかしたら援助が必要なご家庭が分かるかもしれませんが、特に問題がなければ安心なのですが、学校としてはこういうところからも参考にさせていただき、ぜひ29年度は校数をふやして、子どもを見守っていただきたいと思いますと思いました。

清正教育長 ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

(質疑・意見なし)

清正教育長 よろしいでしょうか。ありがとうございます。
それでは、ほかにご質疑、ご意見はないようですので、ここで本件に関する報告は終了させていただきます。

次に日程第4、報告第18号「後援・共催事業に関する報告」について事務局から説明をお願いいたします。

教育政策課長 教育長

清正教育長 教育政策課長

教育政策課長 それでは、報告第18号「後援・共催事業について」ご報告をさせていただきます。1枚おめくりいただきまして、1ページをお開きください。

今回は、記書き以下名義使用承認報告が4件、事業実績報告が5件でございます。

初めに、2件ほど誤植がございました。訂正のほうをお願いしたいと存じます。1点目でございますが名義使用承認報告1の事業名で、括弧書きでございます。正しくは東日本大震災復興支援でございます。2点目でございます。4ページ、事業実績報告の3になります。1行目の後援・共催の別所管課でございますが、正しくは生涯学習・学校地域連携課でございます。大変申しわけございませんでした。

それでは、1ページにお戻りいただきたいと存じます。まず1件目でございます。事業名が「第18回新大正琴チャリティコンサート」でございます。主催者が新大正琴愛好会でございます。お示しのとおりの内容で、北とびあつつじホールを会場に行われます。

2件目でございます。事業名が「星美学園短期大学日伊総合研究所公開講演会」。主催者が星美学園短期大学日伊総合研究所でございます。お示しのとおりの内容で、星美学園短期大学講義室を会場に行われます。

2ページをお開きください、3件目でございます。事業名が「パフォーマンスキッズ・トーキョー」。主催者が特定非営利活動法人芸術家と子どもたちでございます。お示しの内容で、ココキタスタジオ1を会場に行われます。

4件目でございます。事業名が「2017年第45回夏休み児童・青少年演劇フェスティバル」。主催者が日本児童・青少年演劇劇団協同組合でございます。

5ページをご覧いただきたいと思います。別紙1でございます。お示しのおりの公演、及びワークショップを開催するということでございます。

以上が名義使用承認報告でございます。

恐れ入ります、3ページにお戻りいただきまして、事業実績報告でございます。裏面の4ページの1から5までとなっております。後ほど高覧いただきたいと存じます。私からの説明は以上でございます。

清正教育長 報告ありがとうございます。本件につきまして、ご質疑、またはご意見はございますでしょうか。

檜垣委員 教育長

清正教育長 檜垣委員

檜垣委員 3番目の事業のパフォーマンスキッズ・トーキョーですが、この内容と、それから日時の期間が8月23日から9月10日まで、夏休み終了後もやっているということで、こういった内容で活動しているのかと思ひまして、質問させていただきます。

生涯学習・
学校地域連
携課長 教育長

清正教育長 生涯学習・学校地域連携課長

生涯学習・
学校地域連
携課長 内容といたしましては、ダンスをアーティスト、振付師とともに一緒につくり上げていく内容の事業でございます。小学校3年生から6年生を対象として実施していた経緯もでございます。8月23、25、27、29、30、9月に入りまして2日、3日、8日、9日、10日を予定しているというところで、今回は4年生から中学3年生までが対象で、以前他のところで実施していたものよりも、より対象を広げて実施するものがございます。

檜垣委員 大体どのくらいの方を集めているのでしょうか。また指導者は何名くらいになるのでしょうか。

生涯学習・ 学校地域連 携課長	教育長
清正教育長	生涯学習・学校地域連携課長
生涯学習・ 学校地域連 携課長	<p>各会の定員は60名程度を考えております。総定員で120人というところをごい まして、実施する時間帯も夏休み等であれば問題ないところですが、それ以外は 学業に支障のない範囲の時間帯での実施を考えております。</p> <p>それから指導者でございますが、芸術家と子どもたちという非営利団体代表の堤康彦 氏を中心に行い、以前に違う団体のときは別のアーティストのダンサーを講師でお招き してやっているというところがございます。</p>
檜垣委員	<p>注意・監督のほうをよろしくお願ひしたいと思ひます。 以上です。</p>
清正教育長	<p>ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。</p> <p>(質疑・意見なし)</p>
清正教育長	<p>ありがとうございます。それでは、ほかにご質疑、ご意見はないようですので、本件 に関する報告は終了させていただきます。</p> <p>以上で本日の日程全てを終了いたしました。これを持ちまして、平成29年第4回教 育委員会定例会を閉会させていただきます。</p>